

作成: 芝崎

79. 散歩篇: 何と出会わずかわからないのが楽しい……

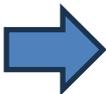
- (1) いつも私が近づくとすぐ逃げる猫ちゃんばかり、この回は階段の片隅に三毛猫ちゃんが逃げずジーとしているので、「オス!!」声かけてみたが、それでも微動だせず。まさに泰然自若。通り過ぎてから、「オス!!」がいけなかったのかとふと思った。
- (2) 人通りの少ない交差点(三叉路)で赤信号になり、私が立ち留まる。私の横にパトロールの交番のおまわりさんがバイクできて、停止線の白線を30cm程オーバー、すると彼は降りて確認して、白線の前にバイクを戻す。……ポリスしての模範を示した……私一人見てたから? 別の日、同じこの交差点で、赤信号になり、私は立ち止まる。横を中年の小太りのおばさんが外車に乗ってきたが、ちょっとスピード出過ぎで止まったけど、車体分白線を越えていた。どうするかなとみていたが、堂々した態度で知らんぷり、何もせず、青信号になり次第、さっそと飛ばして去っていた……何だろうこのギャップは……まさに自己中心。このような方は事故を起こさないで!!と願う。自己責任であっても他に迷惑をかけないとはかぎらない。
- (3) 散歩中に小さな食堂にあった小さな掛札に気になった。それには春夏秋冬と記載されていた。何んだらうと、思い、ネット調べると、①「秋がない中」……商い中という意味のようだ。②「あきない」から店の料理の味に「飽きない」ことを想定して、商売繁盛もかけているようだ。どの店も掲げているわけではないが、私が見たのは看板/表示初めて、一度、そのうち、この小さな食堂の主人にこの看板を掲げた思い/いきさつを①②以外さらに聞いてみたいと思った。

春: 春の散歩は少しずつ、温かくなり、気持ちが良い

夏: 夏になる前は天気が良くなることを願い、じめじめした日々が早く過ぎてと願う

冬: 冬の前に秋がないのはとても寂しい、冬は寒さを耐えて春を待つ

中: 中心的な活動として散歩を適時励行中: 季節の変化で何か新たな発見を期待 🍀



常夏の国々、北欧の白夜等では、いい面もあるが、飽きてきそうな感あり、やはり、日本では春夏秋冬の繰り返し、四季折々の変化があり、風景、食べ物、生活の変化を通して新たな発見を期待してあきないで散歩を励行したい。



以上